

令和 7 年度第 1 回岡崎市環境審議会 会議録

1 開催日時

令和 7 年 5 月 16 日（金）午後 2 時 30 分から午後 3 時 40 分まで

2 開催場所

岡崎市役所福祉会館 2 階 201 号室

3 内容

- (1) 辞令交付
- (2) 会長の選出及び職務代理者の指名
- (3) 令和 6 年度第 4 回岡崎市環境審議会における議題「岡崎市災害廃棄物処理計画の改定について（答申）」の修正結果について（報告）
- (4) その他

4 出席委員の氏名（五十音順）

- (1) 出席委員
石川裕子、今村ひとみ、河江喜久代、川田奈穂子、香坂玲、阪口奈央、佐谷智、杉浦清、鶴田和男、鳥山紀幸、渡邊幹男
- (2) オンラインによる出席委員
片岡明博、吉永美香

5 説明のために出席した職員の職氏名

環境部長：加藤元
環境部次長兼廃棄物対策課長：蜂須賀功
環境部次長兼清掃施設課長：蜂屋光生
環境保全課長：山田章博
ゼロカーボンシティ推進課副課長：植村信幸
ごみ対策課長：高木祐司
総合検査センター所長：大竹弘俊

6 出席した事務局の職氏名

副課長：神谷雅範、環境政策係長：中村亮太、主事：生田総司、主事：荒井千咲子、自然共生係長：鈴木智

7 議事要旨

- (1) 会長の選出及び職務代理者の指名

河江委員から渡邊委員を会長に推薦する意見があった。他に会長を推薦する意見はなく、渡邊委員を会長とすることに委員全員から拍手の賛意があり、渡邊委員が会長として選出された。

職務代理者の指名については、渡邊会長から、杉山委員を職務代理とした旨の発言があったが、当日、本人が欠席だったため、会長からの指示により事務局が杉山委員の意思を確認することとなった。

- (2) 令和6年度第4回岡崎市環境審議会における議題「岡崎市災害廃棄物処理計画の改定について（答申）」の修正結果について（報告）

廃棄物対策課から、報告内容について説明がなされた。

- (3) その他

環境部各課等の長から、それぞれ今年度の課題、目標及び取組を説明した後、質疑応答がなされた。

【ゼロカーボンシティ推進課に関して】

（杉浦委員）

従来の行政からすれば、最新の取組だと思う。説明内容に普及啓蒙とあるが、具体的にどういった取組を行っているのか。

また、一般的に人と地球に優しいことはお金がかかるが、人口減少下の中で具体的にどのような対策を行っているのか。

ネーミングが大事なので、課名が親しみやすいものになれば普及しやすいと思う。

（ゼロカーボンシティ推進課）

まず、普及啓発について直近で取り組んでいるものとして、ワークショップを開催している。4月末に実施し、ただ脱炭素を進めるだけでなく、身近な困りごとと掛け合わせて行った。

財源については、まだ具体的な対策はないが、今年度、検討する中で答えが出せれば良いと考えている。

（香坂委員）

政策統合ということで、ネイチャーポジティブと脱炭素とサーキュラーエコノミーをそれぞれ効果が良いものを一緒にやっというとか、資源が制約されてくるなかで効果が出やすいものを一緒にやろうという動きが、国でも各自治体でもあると思う。一緒にやって効果があるものは良いのだが、トレードオフのもの、特に再エネの土地利用のところで、促進区域やゾーニングの設定をしていく中で、あまり望ましくないところに建ってきているものや、耕作放棄地など難しい場所に設置されている事案を把握していれば教えて欲しい。今後の展望もどのように考えているのか教えて欲しい。

（ゼロカーボンシティ推進課）

本市の総合計画の中では、経済・環境・社会の三側面で解決できる取組を進めていく。地球温暖化対策実行計画についてもただ脱炭素を進めるだけでなく、そういった三側面も両立できるように掲げている。促進区域についても、実行計画の中で、重要文化財や景観重点地区以外の建物の屋根の上でやっていこうと設定している。一方、制限は特に考えていない。直近でも耕作放棄地かどうかは分からないが、山林や旧額田地区に太陽光パネルの設置の届出が増えてきているのは事実である。

（渡邊会長）

今の話は、生物多様性とも関連している。生物多様性を維持することと、太陽光パネルを設置すること自体は相反することになっている。そういう点では、今後どうやって考えていくのが課題だと思う。ただ、人間の経済活動がおそらく主体になってくると思うので、ゼロカーボンシティ推進課と環境保全課が一体となって考えていく必要があると思う。

【清掃施設課に関して】

（渡邊会長）

現在施設が老朽化してきていると思うが、今後、西尾市にクリーンセンターが拡張されて共同利用になると思う。西尾市に岡崎市のごみを持っていくと思うが、岡崎市にはどこまでの関係があるのか。

（清掃施設課）

西尾市のクリーンセンターが令和12年度に完成する。その後は八帖クリーンセンターの処理能力1日100t分のごみを西尾市のクリーンセンターで処理することになり、八帖クリーンセンターは休止する。

【総合検査センターに関して】

（渡邊会長）

総合検査センターの説明に関して、湿地にとっても水は重要であるため、水質検査をしっかりと行ってほしい。

会議資料

令和7年度第1回岡崎市環境審議会次第

岡崎市環境審議会委員名簿、配席図

令和7年度岡崎市環境審議会 審議案件予定

議題1 令和6年度第4回岡崎市環境審議会における議題「岡崎市災害廃棄物処理計画の改定について（答申）」の修正結果について（報告）